

=私たちの活動 4つの柱=
*制度化と指導員の身分保障
*専門性と仕事の確立
*父母と共に学童保育運動の発展
*全国の指導員との団結と連帯

建交労全国学童保育部会

ニュース学童保育

2018.8.1.

NO. 28

全日本建設交運一般労働組合
全国学童保育部会 発行
編集：事務局

行政、大規模問題を放置

大規模化は、
子ども
の権利侵害

静岡県内の実態

静岡市では公設の児童クラブは葵区、駿河区、清水区全体で79クラブあり、形態は社協委託、地域運営委員会NPO法人です。他に民間の児童クラブは12クラブあります。

1教室に全員が集まって食べるため窮屈なスペースで大変な状況におかれているとの声がでています。

善されていません。現場の子ども、支援員、あずけている保護者の声を聞き、適正規模に見直すべきです。

低い指導員の待遇

大きな課題として、大規模問題があり、児童クラブ全体の3分の1が大規模です。そうしたところでは、こどもたちの生活には様々な規制があつて、のびのびと過ごせない。子ども



静岡県と交渉する組合同員

の人数が多くて居場所がなく、それを理由に退会する子も続出して、毎日のおやつ時、また、毎日の生活に問題ありと現場の支援員が訴えても改善しない状況が続いています。

行政に大規模化が子どもの生活に問題ありと現場の支援員が訴えても改善しない状況が続いています。

掛川市は、運営のほとんどが社協運営で、他に保護者運営と地域運営があり、去年から企業参入の動きが強まっています。昨年度、処遇改善事業の要望を行政に出しましたが、予算が通らず委託料を全体的に増額という形でおわっています。

今年も続いて5月に要望書を提出しました。掛川市も指導員不足

が多く、認定資格をとった指導員が退職したり新しい指導員が求人をかけても入ってこない状況が続いています。40人近くを2人で見ていたり、毎日違う職員がやってきて保育をする学童保育所などがあります。

沼津市は、学童保育所が増え、現在35クラブで70人の支援員がいます。地域運営委員会方式は自治会の会長がクラブの責任者になっています。年2回、地域の運営委

員長が集まり沼津市放課後児童クラブ連絡協議会が行われます

各クラブの運営委員会は年1回開催されます。そこには、学校の校長や民生委員、保護者会長と支援員、支援課の課長、担当者が参加します。

保護者たちは、クラブの実態や要望を支援課長に訴えています。待遇改善や賃金改善などの問題が山積みされています。

(静岡学童保育班

永塚 信子)

全国学童保育部会総会

日時：9月22日(土) 13時

受付開始12:30

～23日(日)

場所：建交労中央本部

参加申し込み：9月4日(火)

*必ず、メールまたはFAXでお願いします。

参加費：16,000円(1泊2食)

*各都道府県、一人分の参加費・交通費は中央本部より保障されます。

各支部より、参加者を送り出せるよう準備を進めましょう。